

平成
19年度
予算公表

町民参加の協働で 明るいまちづくりを目指して

一般会計21億3,000万円の予算を編成

平成19年度当初予算が3月定例議会にて可決されました。一般会計予算の総額は、21億3,000万円です。前年度に対して4,710万円、2.2%の減額となりました。「行財政改革プラン」による人件費等の歳出削減を図っていますが、財源不足となる8,394万円は町の貯金である財政調整基金から繰り入れています。

特別会計の予算総額は4会計合わせて15億7,454万円です。前年度に対して4,743万円、2.9%の減額となりました。水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政は依然厳しい状況にありますが、「こうざき新世紀プラン」の後期基本計画の推進を図るため、予算の執行段階においても歳出の削減に努めます。

新年度予算と主要な事業についてお知らせします。

歳入

歳入の主なものとしては、町税が三位一体の改革による個人所得割の10%比例税率化と定率減税の廃止等により7億6,879万8千円で前年比14.5%の増、地方交付税は公債費等の需要額は伸びるものの税収増や人口と面積を基本とした新型交付税の導入もされるため前年度と同額の6億6,500万円を見込みました。この二つで全体の67.3%を占めています。

地方譲与税は所得譲与税の皆減等により61.4%減の3,400万円、国県支出金は新規事業である並木郡根岸線道

路改良事業により16%増の1億4,060万5千円となりました。繰入金は、財政調整基金からの繰入の減により、49.2%減の9,229万7千円、町債は臨時財政対策債のみで1億2,000万円です。



歳出

本年度の主要事業は、武田古原線 期道路改良事業及び並木郡根岸線道路改良事業で各々3,000万円を計上しました。

その他の重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。

地方債の返済経費である公債費として、4億1,591万円を計上しました。

地方債の借入残高は平成19年度末で約31億6,000万円、町民一人当たりにする

()内は前年度比

特 別 会 計		
国民健康保険	6億8,990万円	(34%)
介護保険	3億1,134万円	(1.7%)
老人保健	4億9,950万円	(△13.1%)
給食センター	7,380万円	(0.7%)
合 計	15億7,454万円	(△29%)

水 道 事 業 会 計		
収益的	収入	1億6,377万円 (△20%)
	支出	1億5,927万6千円 (△1.5%)
資本的	収入	1万1千円 (0%)
	支出	8,320万1千円 (11.0%)

と約47万円の前年度より約3万円の減となりました。

財政用語解説

- ① 地方交付税 標準的な行政の実施に必要な経費を賄うための収入が不足する団体に対して、一定の方法によって国から交付されるお金。
- ② 公債費 学校や道路などの建設のために借り入れたお金を返済するための経費。
- ③ 臨時財政対策債 地方交付税の減額分を補うため特別として認められた借入金。
- ④ 地方債 公共施設の建設等に必要な税源を調達するための借入金。